

- 1 単元名 「もっと なかよし まちたんけん」
「つながる 広がる わたしの 生活」

2 単元の目標

- 地域の施設や人々と関わる活動を通して、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることがわかるとともに、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。 (知識及び技能)
- 地域の施設や人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。また、見付けたことや気付いたことを自分なりに表現し、伝えている。 (思考力・判断力・表現力等)
- 地域の施設や人々と関わる活動を通して、地域に親しみや愛着をもち、地域の人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領第5節生活編の内容(3)「地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。」及び(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い、交流しようとする。」を受けて設定している。

児童にとって身近な地域の、さまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分とのかかわりを見つけ、地域にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くとともに、それらに対する親しみの気持ちや愛着を深めるとともに、人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活しようとしたりすることができるようにすることを目標としている。

また、町探検を通して気づいたことや楽しかったことを、言葉や動作、時には絵を使って工夫して表現する活動を通して町探検での気づきを確かなものに行うことができるようにする。

(2) 児童観

本学年の児童は、第1学年において、地域にある公園や幼稚園や保育園をめぐってきている。また今年度は地元商店街を見学したり、地域にあるケーブルを利用して生駒山上遊園地内に戦前からある飛行塔の見学を行ったりした。この活動を通じて、地域にはどんな建物があるのか、どんな人々が暮らしているのかを見てきている。さらには、自分の家の近くにはどんな建物があるのかを調べ、拡大地図に書き込む活動を通じて、地域に対する関心をもっている。

さらに、通学路探検でもっと知りたいことを見つけ、地域の「ステキ」を伝える活動を行う。紹介する際には、なぜ・どうして「ステキ」なのか、関わりのある人や物に着目し、願いや思いを考えられるように気をつけさせたい。地域に住む児童として地域のよさに気づき、進んで身近な人々と関わろうとしてほしい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず自分たちの暮らす町がどんな町なのかを考える。その際に1年生で行った公園探検や2年生での社会見学、絵地図作りの経験を想起させ、「生駒の町にはどのようなすてきがあるのか」を考えられるようにしたい。子どもたちの経験の中から、自分たちが暮らす町には人・建物・お店などの要素があることに気づかせ、今後の町探検に必要な視点を持つことができるようにしたい。

次に実際に町探検を行い、自分たちが暮らす町についてさらに知ることができるようにしたい。本単元では保護者にクイズで発表するということを想定している。探検して調べたことをもとにクイズを作るという目標を持たせ、自分たちの知らないことを知らせるという視点をもって町探検ができるようにしたい。

次に町探検をして「ふしぎだな」「もっと知りたい」「どうしてだろう」となど疑問に思ったことを地域の人へのインタビューを通して解消できるようにしたい。インタビューを通して、作成するクイズに理由や根拠を持てるようにしたい。

最後に作成したクイズを参観で発表し、自分たちが見つけたすてきについてまとめ、発信できるようにしたい。保護者の方から感想をもらい、自分たちの調べまとめたことが意義のあることだったと感じることができるようにしたい。さらに調べたことを通して、さらにすてきな町にするために、自分たちにどのようなことができるかを考えさせ、児童の行動化につなげたい。

(4) ESDとの関連

・この題材で働かせるESDの視点（見方・考え方）

多様性…生駒の町にはこれからも大切にしていきたいもの人、よさがいろいろある。

相互性…いろいろな人のつながりが、生駒の町をよくしている。

・この学習を通して育てたいESDの資質・能力

多面的・総合的に考える力

町の良さをものや人との関わりを通して捉えることができる。

コミュニケーションを行う力

様々な立場の大人へのインタビューを通して、相手の思いを聞き取ることができる。

・この学習を通して育てたいESDの価値観

世代間の公正

生駒の町をよくするために、それぞれの立場の大人によって様々な考えがある。

人権・文化を尊重する。(文化多様性の尊重)

生駒の町には文化的な良さがたくさんある。

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

自分たちが幸せなのは様々な人や物がかかわりあっているからである。

・達成が期待されるSDGs

目標 11：まちづくり

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
① 地域の様々な場所や生活したり働いたりしている人々の存在に気づき、それらが自分の生活と関わっていることに気付いている。	① 行く場所や見てみたい物を思い描きながら、探検の計画を立てている。 ② 探検で見つけた物や場所について自分の生活と結び付けて	① 探検先の調べたいこと、もっと詳しく知りたいことを考えて、探検に行こうとしている。 ② 地域で関わった人の、地域に寄せる思いに触れ、これからも地

<p>② 地域の人々に接する際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしている。</p> <p>③ 町探検やインタビューで関わった地域の人々の地域に寄せる思いに気付いている。</p>	<p>捉えている。</p> <p>③ 友だちと自分の見付けたことの共通点や相違点を探しながら、地域のことを伝え合っている。</p>	<p>域や地域の人々と関わろうとしている。</p>
--	---	---------------------------

5 単元の指導計画（全26時間）

次	時	学習活動	学習への支援	評価・備考
1	1 ～3	<ul style="list-style-type: none"> ・生駒について話す。(1時間) ・通学路探検の計画を立てる。(2時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おすすめ」「じまん」などのキーワードで児童が地域について知っている情報を考えさせる。 ・日頃の地域での関りを話題にするなど、「知りたい」「見たい」「確かめたい」「クイズをつくりたい」という意識をもたせる。 	<p>ウ① (主体的)</p> <p>イ① (思判表)</p>
	4 ～9	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路探検に行く。(6時間) (赤番線) (緑番線) (ピンク・黄番線) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の通学路にはどんな人や物があるのか再確認させる。 ・自分の通学路以外でも「調べたい」「行きたい」という意識をもたせて出かけさせる。 	<p>ウ① (主体的)</p>
	10 ～ 16	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけた「きらり」をまとめる。(4時間) ・学級間発表をする。(3時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には様々な場所があり、人々が暮らしていることに気づき、自分と関わりがあることに気付かせる。 ・1・2・3・4組間で見つけたことを教え合わせる。 	<p>イ②③ (思判表)</p>
2	17～ 20	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお店をもっとくわしく知る。(1時間) ・お店の人や仕事について知る。(1時間) ・お店の人にインタビューする。(2時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文房具店「いなもり」さん・青果店「えびすや」さんの話を聞きながら、自分との関りを考えさせる。 ・お店の人の「思い」「願い」を考えさせる。 	<p>ア①②③ (知・技)</p>
	21～ 26	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「きらり」をとどけるためのまとめをする。(4時間) ・学習参観で発表する。(2時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「きらり」を身近な人に伝える活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりさせる。 	<p>イ②③ (思判表)</p> <p>ウ② (主体的)</p>

※ 上記の単元は、以下の2つの単元と2時間に置き換わる。

「もっと なかよし まちたんけん」(12時間)(10～11月)

- ① たんけんの 計画を 立てよう (2時間)
- ② もう いちど たんけんに行こう (3時間)
- ③ 見つけた ことを しょうかいしよう (2時間)
- ④ まちの人 人に 聞きに行こう (3時間)
- ⑤ 分かった ことを 話し合おう (2時間)

「つながる 広がる わたしの生活」(12時間)(11月～12月)

- ① つたえたいな まちの すてき (3時間)
- ② もっと くわしく しらべよう (4時間)
- ③ つたえたい ことを まとめよう (2時間)
- ④ まちの すてきを とどけよう (3時間)

「あしたへ ジャンプ」(1月)

ありがとうの 気持ちを つたえよう (27時間うちの2時間)

(1) 本時の目標

自分たちの暮らす町のすてきなところを見つけ、学習の見通しを立てる。

(2) 本時の展開

	学習活動・予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	1. 1 学期の社会見学について振り返る	・「生駒山上遊園地」「生駒ケーブル」「びっくり通り」など行った場所を振り返る	
展開	2. 生駒の町のすてきなところを考える	・「人」「もの」「場所(建物・お店など)」などの要素ごとにまとめ、町探検の際の視点を提示する。 ・保育園、幼稚園や公園など1年生の公園探検を思い出して考えることができるようにする	自分の知っているステキを考えている。(態) <u>ワークシート</u>
まとめ	3. ほかにどんなすてきがあるのか予想をする。 4. 町探検の見通しを立てる。	・グーグルマップや写真を提示し、どんな場所なのかを考えさせる。 ・見つけたすてきからクイズを考えることを伝え、みんなが知らないようなことを探そうとする意欲を持たせる。	町探検で何を見つけたいかを考え、学習の見通しを立てている。(態) <u>ワークシート</u>

(1) 本時の目標

たんけんの計画を立てる。

(2) 本時の展開

	学習活動・予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	<p>1. 教師が用意した、それぞれの番線にある場所についてのクイズを楽しむ。</p> <p>2. 本時のめあてを確認する。まちたんけんの計画を立てよう。</p>	<p>・児童に関わらせたい場所は教師が意識してあらかじめクイズに出したり、写真を見せたりして、興味を喚起する。</p>	
展開	<p>3. 絵地図を見ながら探検先を全体で確認する。</p> <p>4. 探検先の写真を見て見つけた、探検先のすてきなところを、きりりカードに書く。</p> <p>5. たんけんでくわしく見たい場所を考える。</p>	<p>・Google マップを使って、危険な場所や注意の必要な場所も合わせて確認する。</p> <p>・きりりカードには、まちで見つけた「人」「もの」「ばしょ」を書くことを伝える。</p> <p>・探検する順番や通る道、くわしく見たいところを交流させる。</p>	<p>イ (③)</p> <p>ワークシート</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>イ (①)</p>
まとめ	<p>6. まちたんけんに出かける準備をしたり、まちたんけんのさいのルールやマナーをかくにんしたりする。</p>		

(1) 本時の目標

通学路探検でみつけた「きらり」をまとめる。

(2) 展開

	学習活動 予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	<p>○赤番線探検の写真を見る。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>○写真をみて赤番線探検で見たもの考えたことなどを思い出させる。</p> <p>○まとめとクイズづくりを確認させる。</p>	ア① (知・技)
赤番線のクイズを考えよう			
展開	<p>○「きらりカード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人 ・バス ・ポスト ・つくりたてのパンのにおい ・いなもり ・近鉄百貨店 <p>○班のメンバーと自分の見つけた「きらり」を交流する。</p> <p>○クイズを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことをたくさん書かせる。 ・音やにおいにも気付かせる。 ・ 人や物や場所に気付かせる。 ・メンバーと意見交流させる。 ・重なるもの、重ならないものを確認させる。 ・赤番線の「きらり」をクイズでみんなに伝えるための話し合いをさせる。 ・「発表原稿」に書かせる。 	イ② (思判表) イ③ (思判表)
まとめ	○班別「きらり」発表&クイズ、赤番線の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・赤番線で見つけた「きらり」◇班バージョンを、クイズを交えて発表させる。 ・ほかの班の意見に触れさせる。 	イ③ (思判表)

(1) 本時のめあて

お店の人へ質問することを考える。

(2) 本時の展開

	学習活動・予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	<p>○探検で見つけたことを整理する。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>・写真やグーグルマップを活用し、探検に訪れた場所や地域の人々との関わりを振り返らせる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> お店の人へ質問することを考えよう </div>			
展開	<p>○「いなもり」について知っていることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いなもりさんは文房具を売っている。 ・いなもりさんには、お菓子も置いてあるよ。 ・お店では○人働いているよ。 <p>○「いなもり」についてわからないことや聞きたいことを整理する。</p> <p>(1) 個々で考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝は何時から開いているの？ ・お店の名前はどのようにして「いなもり」なの？ ・どうしてお菓子も売っているの？ <p>(2) グループになって質問の内容を共有し、整理する。</p> <p>(3) グループ毎に質問を二つ決める。</p> <p>○各グループで決まった質問を発表する。</p>	<p>・店を利用したことがあるか確認し、店について知っていることを交流させる。</p> <p>・どのような質問をすればよいか例を挙げる。</p> <p>・考えた質問は付箋に書いて机に貼っていくように声をかける。</p> <p>・グループ内で意見を共有するために、質問の書かれた付箋をまとめて貼るように声をかける。同じ意見があった場合は、意見ごとにまとめると見やすいことを伝える。</p> <p>・付箋をまとめたものを見せながら、グループ毎に発表し、全体でも交流させる。他のグループと同じ質問を選んでいてもよいことを伝える。</p>	<p>ア① (知・技)</p>
まとめ	<p>○次時の活動を知る。</p>	<p>・「いなもり」の店の人に、児童が考えた質問を直接インタビューすることを伝える。</p>	

生かつか 生駒の「きらり」を見つけよう

◎はっぴょう げんこう◎ ()はん

●これから ()はんの ()番線の はっぴょうをします。

●生駒の「きらり」をたくさん見つけたので、10こだけはっぴょうします。

() () ()
() () ()
() () ()
() ()

●つぎはクイズをします。

もんだい

こたえをつぎの3つからえらんでください。

①
.....

②
.....

③

●せいかいは () ばん でした。みなさんわかりましたか？
これで () はんの はっぴょうをおわります。